

守谷市立図書館運営基本方針

守谷市教育委員会

平成30年7月

守谷市立図書館の現状とこれから

守谷中央図書館（以下、「中央図書館」という。）は、市のほぼ中心にある市庁舎の隣に平成7年5月13日に開館し、今年で23年目となります。中央図書館は、建設に当たり守谷町立図書館建設検討委員会の委員として市民が参画、子どもの読書活動に関わるボランティアによる中央図書館開館時の児童書選定の協力など、市民との協働によって作られた図書館です。

中央図書館の開館から20年以上が経過し、図書館を取り巻く状況の変化が著しい中、市民ボランティアによる図書館運営への協力は広がりを見せ、守谷市立図書館※1にとってなくてはならない存在となっています。今後もボランティアが永続的に活躍できる環境を維持することに努めるとともに、広く市民や市民団体等との連携を深め、市民との協働を推進します。

現在は、社会のあらゆる分野で情報化が進み、図書館においても従来の印刷資料に加えて、電子資料の収集にも努める必要があり、それらの資料を統合して利用できる図書館（ハイブリッド図書館）なども新しい図書館像として考えられているところです。守谷市立図書館は、「図書館は成長する有機体である」※2 ために、時代の変化に柔軟に対応し、市民ニーズと資料的価値を考慮した資料収集に努め、教育と文化の発展に寄与する生涯学習の拠点として成長していきます。

※1守谷市立図書館とは、中央図書館と四つの公民館図書室の総称です。

※2「図書館は成長する有機体である」は、インドの図書館学者ランガナタンの「図書館学の五法則」の一つです。

目指す姿

地域の情報拠点として、市民が多様な図書や情報を容易に取得し活用できるよう、図書館資料の充実と提供に努める図書館を目指します。

未来を担う子どもたちが、読書に親しみ豊かな心を育む読書環境の充実と、学校との連携の下、学習活動の支援に努める図書館を目指します。

市民の知的要求に応える学習拠点として、市民との協働の下、生涯にわたる学びを支える機会と場を提供する図書館を目指します。

3つの方針

① 市民の求める図書や情報の収集、提供、保存

② 未来を担う子どもたちの読書活動の推進と、学習活動の支援

③ 市民との協働により、市民が集い、学び、活躍できる場の整備

取組の方向

① 市民の求める図書や情報の収集、提供、保存

市民の求める図書や情報を収集し、提供することは図書館にとって最も重要な使命であることは言うまでもありません。現在はやがて過去になり、現在の資料の蓄積が未来へとつながります。地域・行政資料の収集・保存にも努め、守谷の歴史を未来へつなげます。

守谷市立図書館は、全国と同規模人口の市区町村内において、トップクラスの資料費を長年確保し、多様な図書館資料を収集、提供してきました。これからも、時代の変化に対応し、多様化する市民ニーズに応える図書、情報の提供に努めます。また、地域の情報拠点として、地域の活性化や課題解決に役立つ資料や行政と市民をつなぐ資料・情報の提供にも努めます。

② 未来を担う子どもたちの読書活動の推進と、学習活動の支援

読書は、子どもたちが人生をより豊かに生きるための力を身に付ける上できわめて重要な行為です。子どもの成長段階に応じた資料を収集し、子どもたちに届け、読書の楽しさを伝えるとともに、未来の図書館サポーターである子どもたちの主体的な図書館利用を支援します。

守谷市の教育目標に掲げる「新しい時代をたくましく生きぬく人づくり」を目指して、平成19年3月に「守谷市子ども読書活動推進計画」を策定し、現在は第三次計画を推進しています。全ての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭、地域、学校における読書活動の充実に努め、守谷の未来を担う子どもたちの成長を支援します。

学習指導要領の方向性から、学校図書館、守谷市立図書館が果たすべき役割の広がりと考えられます。これまでの図書の貸出しを中心とした支援にとどまらず、子どもたちの主体的な学習活動を支援する取組に努めます。

③ 市民との協働により、市民が集い、学び、活躍できる場の整備

現在、図書館ボランティアの登録は、18団体とブックスタートボランティア（個人）です。図書の修理、音訳、点訳、おはなし会の開催、ブックスタートの実施協力、図書館行事への参画など、各々の特性を生かした自主的な活動により、図書館運営に大きく貢献していただいています。世代交代があっても活動が途切れることのないように、今後もボランティアの育成と支援に継続的に取り組みます。

守谷市の施策である「生涯学習の推進」、「協働によるまちづくりの推進」を進めるために、市民団体等との連携を深め、市民との協働により、学びや活動の機会と場の整備に努めます。また、生涯学習の拠点として、市民の生涯にわたる学びを支えるため、講演会、講座及び行事の開催等に努めます。